

アゾキシストロビン耐性チャ輪斑病菌の発生実態と防除法

[研究のねらい]

- ・チャ輪斑病に対して高い防除効果を示す殺菌剤「アゾキシストロビン水和剤（商品名：アミスター20 フロアブル）」の高度耐性菌（＝実用濃度に耐性を示す菌）が、2009年に静岡県で検出された。そこで病害虫防除所の巡回調査地点を中心に耐性菌の発生実態を調査する。
- ・今後の防除対策を明らかにする目的で、耐性菌の発生したほ場における薬剤の効果を検討した。

[研究の成果]

表1 チャ輪斑病菌のアゾキシストロビン水和剤に対する耐性検定（2010～2012年度）

地区	調査ほ場数	耐性菌検出ほ場数(%)	調査菌株数	耐性菌株数(%)
富士山麓	10	1 (10.0)	92	8 (8.7)
静岡市	17	2 (11.8)	254	31 (12.2)
牧之原・相良	33	14 (42.4)	389	67 (17.2)
川根	11	5 (45.5)	171	19 (11.1)
磐田原	17	5 (29.4)	225	38 (16.9)
天竜	4	0 (0.0)	31	0 (0.0)
合計	92	27 (29.3)	1,162	163 (14.0)

- ・耐性菌は県下の広範囲で発生している。特に、牧之原・相良地区では検出ほ場率・耐性菌株率ともに高い。但し、アゾキシストロビン水和剤の使用実績が極めて少ない天竜地区では耐性菌は検出されていない。

表2 アゾキシストロビン水和剤に対する耐性菌率と防除効果との関係

試験地	摘採日 or 整枝日	薬剤散布日 (摘採後日数)	調査日	発生状況 発生程度	耐性菌株率	アミスター ダコニール	
						防除価	防除価
菊川市1	6月29日	当日	7月20日	多	0.0%	94.2	94.2
		3日後				91.8	53.3
菊川市2	6月5日	当日	7月27日	少	7.7	76.4	—
川根本町	6月25日	当日	7月17日	少	15.2	93.2	80.0
		3日後				79.7	13.6
掛川市	7月8日	1日後	7月27日	多	23.3	79.0	62.3
静岡市	10月15日	当日	11月13日	少	59.6	36.2	—
御前崎市	9月11日	当日	10月3日	少	94.2	0.0	84.8

注1) 発生程度は「新農薬実用化試験 試験実施方法」（日本植物防疫協会編）による。

- ・耐性菌率が高くなるのに伴ってアゾキシストロビン水和剤の防除価が低下していく。
- ・耐性菌株率が30%台までなら、実用的な防除価が期待できる。
- ・TPN水和剤（商品名「ダコニール1000」）は、アゾキシストロビン水和剤の耐性菌株率の高低に関係なく、摘採1日後までなら実用的な防除効果が得られる。

問い合わせ先 生産環境科(病害虫) 0548-27-2885
代表 0548-27-2880
E-mail: ES-kenkyu@pref.shizuoka.lg.jp